

令和4年度エゾシカによる森林被害調査について
(国有林を除く)

特記事項

- ・被害実面積は昨年度より増加。

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
被害面積(ha)	2,048	1,908	1,333	2,033	1,720	1,822

- ・上川、オホーツク、釧路、十勝管内で被害が増加
- ・依然として、胆振、日高、釧路、十勝管内の被害が多い

(単位：ha、倍、千円)

区 分	R4年度		R3年度	R2年度
	被害実面積 (R4/R3)		被害実面積	被害実面積
渡 島	4	(0.6)	7	20
檜 山	—	(—)	—	—
後 志	1	(0.3)	3	2
胆 振	325	(0.8)	389	671
日 高	157	(0.4)	409	365
石 狩	1	(0.9)	1	5
空 知	87	(0.9)	100	99
上 川	38	(3.8)	10	22
留 萌	—	(—)	2	1
宗 谷	11	(—)	0	—
オホーツク	106	(2.0)	54	250
根 室	99	(0.9)	115	28
釧 路	648	(1.5)	434	347
十 勝	345	(1.8)	196	222
合 計	1,822	(1.1)	1,720	2,033

令和4年度エゾシカ森林（人工林）被害マップについて

趣 旨

- エゾシカによる森林被害対策を効果的に進めるためには、国有林と民有林が連携し一体的に取り組むことが重要。
- このため、森林管理局や道、試験研究機関で構成する「エゾシカ森林被害対策連絡会」を設置（H26年2月）し、連携を強化。
- その取組の一つとして、国有林と民有林それぞれの森林被害の状況を一元化し“見える化”した「エゾシカ森林被害マップ」を作成。

被害マップの内容

- エゾシカ森林被害マップ（以下、被害マップ）は、国有林、民有林（道有林含む）で、令和4年度に実施したエゾシカによる森林被害調査結果のうち、人工林の本数被害率について図示。
※調査は森林整備事業や林況踏査時等を活用し、できる範囲で現地調査を実施した箇所のみでの報告であるため、森林全体を調査したものではない。
- 被害マップは、被害の発生状況が一目でわかるよう3段階に色分けして表示しており、各地域における防除対策やエゾシカの捕獲対策のためのツールとして活用。

- 被害件数**（調査：令和4年4月1日～令和5年3月31日）（件）

区 分	国有林	民有林	合 計
調査箇所（人工林）	2, 246	25, 426	27, 672
うち被害有り	308	1, 996	2, 304

活用方法

- 効果的な防除対策の推進
 - ・各地域の被害発生状況に応じた防除・予防対策（忌避剤散布、侵入防止柵、枝条巻き、保護チューブ等）の実施 等
- 効果的なエゾシカ捕獲の推進
 - ・被害が多い地域における捕獲（狩猟、許可捕獲）の実施
 - ・市町村が実施する一斉捕獲実施箇所の選定
 - ・捕獲を目的とした林道除雪箇所等の選定 等
- その他
他部局、大学・試験研究機関等と連携し、それぞれが保有する地図情報を組み合わせるなど、より効果的な被害対策を展開。